

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2024年5月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

編集・発行 情報システム課

Vol. 83



SPECIAL

人工膝関節置換手術におけるロボット支援下手術システム



人工関節・膝関節機能
再建センター センター長
村上 友彦 医師

人工関節・膝関節機能再建センターでは、人工膝関節手術をより正確に行うための手術支援ロボット(Robotic Assisted Surgery)を2台導入しています。

「ロボットと言ってもダヴィンチのように医師がコックピットで操作するような手術ではなく、特別な訓練を受けて資格を持つ整形外科医自身がロボット支援下に手術を行い、患者様の体への負担を劇的に少なくするシステムです」という村上医師に話を聞きました。

2019年にロボット支援下手術システムを使用した人工膝関節置換の手術が公的医療保険に適用されて以降、ロボットを導入する医療機関は増えています。

人工膝関節置換術とは変形性膝関節症により膝の軟骨や骨が摩耗し変形した関節を金属や超高分子ポリエチレンで作られた人工関節に置き換える手術で、変形が中等度までの患者様に行っています。この手術で重要なことは次の3つです。

①正確な骨切り

(人工関節を入れるためには脛骨もしくは大腿骨の骨を削る必要があります、その角度の判断は高度な技術を要します)

②正確なインプラントの設置

(人工関節のサイズや角度を正確に解析しなければなりません)。

③良好な軟骨組織バランスの獲得

(安静時よりも階段の昇降時などの痛みの除去や機能回復のために必要です)。

ロボット支援下手術システムRASは、車のナビゲーションのように執刀医を支援するもので、患者様の膝の形を3D画像でモニター画面に映しながら専用カメラのもと、ロボットアームを医師が操作することで先ほどの3つの重要事項をより正確に行うことができます。

①の骨切りについては熟練医師でも誤差範囲が厚さ3mm、角度は3度以内と言われており、RASを用いることで誤差範囲が厚さ0.1mm、角度は0.1度以内に抑えることができます。

また、②と③の患者様の膝に適合したインプラント選択や軟骨組織のバランスも、術中にRASが詳細に解析するため、より患者様に精度の高い人工関節置換することができます。つまり、これまで医師の経験で行っていた調整の難しさをRASが安定的に解消します。

このことは人工関節の摩耗や緩みが生じにくくなり、人工関節の寿命を長期化し、将来の再手術リスクを低下させます。

さらに、RASを用いることで不要な切開や剥離をしないため、患者様の身体への負担が少なく、合併症のリスクを低下させ術後の回復が早くなります。術後1週間で独歩できるなど、入院期間も短縮でき、仕事などへの復帰を早くすることができます。

患者様一人ひとりの膝を元通りの形に戻してスムーズな歩行を再現するために、今後ロボット支援下手術はより必要になっていくと思われます。費用も保険適応されており、ぜひ膝関節の変形でお困りの方はご相談ください。



ロボット支援下手術の様子



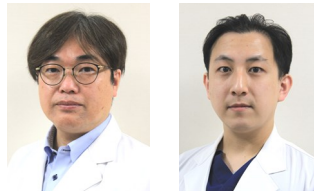
海外で特別な訓練を受講

2024年5月 外来担当紹介

2024年4月 脳神経外科1名、脳血管内治療科1名、循環器科2名、消化器外科1名、消化器内科3名、整形外科2名、形成外科1名、泌尿器科2名、眼科2名、麻酔科2名、研修医2名が新たに着任いたしました。

※下記の外来担当については、2024年5月1日の情報になります。詳しくは城山病院ホームページをご覧ください。
また、表には今回入職された医師のみ記載させて頂いておりますのでお気を付けください。

脳・脊髄・神経センター



脳血管内治療科 副センター長 盛岡 潤
脳神経外科 医長 小坂 拓也

	午前	午後
月	盛岡	-
火	-	-
水	盛岡	-
木	-	-
金	小坂	小坂

循環器科



循環器科 部長 中谷 佳裕
循環器科 部長 中達 誉

中谷先生と中達先生の外来は6月から始まります。



消化器・乳腺センター



消化器内科 副部長 辻本 裕之
消化器内科 副部長 宮崎 博太
消化器内科 山口 亮介
消化器外科 細川 典裕

	午前
月	辻本
火	山口
水	宮崎(1週/3週/5週)・辻本(2週/4週)/細川
木	宮崎(受付11:00迄)
金	山口(1週/3週/5週)

整形外科



整形外科 顧問 竹原 慎介
整形外科 田中 宏茂

	午前
月	竹原
火	竹原
水	竹原
木	竹原
金	田中

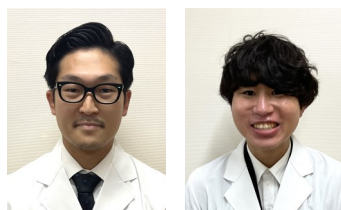
形成外科



形成外科 今村 正樹

	午前
月	今村
火	今村
水	-
木	今村
金	-

泌尿器科

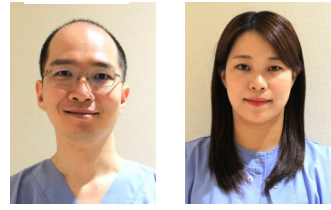


泌尿器科 医長 堤 岳之
泌尿器科 佐々部 涼太

	午前	午後
月	佐々部	-
火	-	-
水	堤	★堤(予約検査)
木	堤	★堤(予約検査)
金	-	-

★→予約のみ診察

麻酔科



麻酔科 塩崎 卓哉
麻酔科 奥山 美友子

眼科

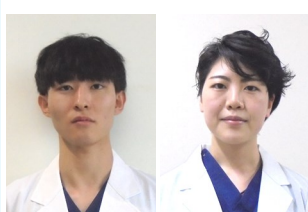


眼科 医長 鈴木 啓祐
眼科 岡 雅美

	午前	午後
月	鈴木	★鈴木
火	鈴木/岡	★鈴木/★岡
水	岡	★岡
木	鈴木/岡	★鈴木
金	★鈴木/★岡	★岡

★→予約のみ診察

研修医



研修医 本田 啓介
研修医 東 佐祐里



4月1日より、総勢72名が入職しました。これからのご活躍にご期待ください。

がんサロン「白鳥の会」を開催しました

患者様・ご家族様の交流の場として、病院内で2カ月に1回行われているがんサロンも、今回で第25回となりました。今回は、『がんトリハビリテーション』というテーマで講演を行いました。がんになったら、しんどくて休んでおこうとか、病気だから安静に…と考えられる方もいらっしゃるかもしれません。

でも、がんやがん治療による体への影響に対する回復力を高め、残っている体の能力を維持・向上させるために、運動はとても大切です。

何となく入院中にリハビリを受けていらっしゃる方もいますが、なぜ大切なのか、予防的な視点もあることなどもお伝えしました。また簡単に座ってできる運動など、参加者の皆さんと実施し、楽しく時間を過ごしました。

次回は、5月28日です。ご参加お待ちしております。

次回は5月28日 跡地医師による講演を予定しています